

## 7月23日「データ解析のための数理統計入門」第4章 命題 4.21

2024-07-23

### 目次

命題 0.1 (命題 4.21): 確率変数  $X_1, \dots, X_m$  が独立で、各  $X_i$  がポアソン分布  $Po(\lambda_i)$  に従うとする。 $X_1 + \dots + X_m = n$  という条件のもとで、 $X_1, \dots, X_m$  の条件付き分布は多項分布  $Mult_m(n, p_1, \dots, p_m)$  に従う。ただし、 $p_i = \lambda_i / (\lambda_1 + \dots + \lambda_m)$  である。

証明.

$$Y = X_1 + \dots + X_m, \quad \theta = \lambda_1 + \dots + \lambda_m$$

とおくと、ポアソン分布の再生性により  $Y \sim Po(\theta)$  となる。

$$P(X_1 = x_1, \dots, X_m = x_m) = \prod_{i=1}^m \frac{\lambda_i^{x_i} e^{-\lambda_i}}{x_i!}$$

$$P(Y = n) = \frac{\theta^n}{n!} e^{-\theta}$$

条件付き確率は以下のようになる。

$$P(X_1 = x_1, \dots, X_m = x_m \mid Y = n) = P(X_1 = x_1, \dots, X_m = x_m, Y = n) / P(Y = n)$$

$P(X_1 = x_1, \dots, X_m = x_m, Y = n)$  の同時確率は、 $P(X_1 = x_1, \dots, X_m = x_m)$  が  $x_1 + \dots + x_m = n$  となるときである。

よって条件付き分布は多項分布  $Mult_m(n, p_1, \dots, p_m)$  に従う。